



校報 水糸者

No. 855

29年度・第28号

雨の朝、かがやきホールから響くかけ声

運動会前日となった、本日の朝はあいにくの雨。
雨が降り続こうが種小っ子たちの意欲とやる気には、
いささかの衰えもありません。

冷雨が降る朝、誰もいないはずの「かがやきホール」
から、子どもたちの元気な掛け声が聞こえてきました。

そこでは、3・4年生の団体種目「140周年記念！紅白対抗
大縄跳合戦」の練習をする3・4年生の姿がありました。

本番での大成功を更に強く確信した他、種小っ子たちに、
たくてしっかりとした『根っこ』が確実に根付いてきた手ご
たえを感じ、子ども達の成長をうれしく思いました。

このような姿になったのは、1学期の始業式で話した『頭と体、心を耕す』（詳細は4月
6日付けの校報No828参照）教育活動を子ども達が続けてきた証拠でもあります。

今日の雨を恵みの雨とし、ますます鋭気を養い明日の運動会に向かって行けそうです。

明日の運動会では、種小っ子の財産でもある「真剣な姿」に感動する事でしょう。

「雨にも負けず」今日も手を抜かずがんばる種小っ子達です。



明日の好天を
信じ、一心に
練習に励んで
いた子ども達



赤も勝て！
白も勝て！

運動会直前でも、 いつも通りの教育活動を行う種小



読み聞かせの風景。
目を輝かせながら聞
き入っている1年生

保護者の皆さんによる、毎週金曜日の読み聞かせは、運動会前日の
ともすれば、心が荒れる「慌」や心を失う「忙」になりがちなこの
時期の学校に、安らぎも与えてくれています。

練習時間以外は、し
っかりと勉強に集中
している子ども達。
このメリハリも種小
っ子の財産です。
(この写真は22日のものです)



23日には、指
導主事さんが
来校しての
授業研究会。

…授業研究会で腕を磨く…

その1

3・4学年「授業研究会」〔4月27日〕

4月27日（木）に、3年田村学級と4年樋口学級で学級活動の授業研究会を行いました。

授業研究会というのは、学力向上と人間関係作りの要である授業の充実のために、教員の指導力の向上を図ることを主な目的に、指導主事さんや同僚の教員に（場合によっては、他校の教員にも）授業を公開し、いろいろな指導や助言をいただき、教員の勉強会の1つです。

今回の2つの授業研は、今年度本校に赴任した7名の先生方に、本校の授業スタイルを理解してもらうためと、11月10日の学校公開研究会で提示する授業スタイルの再確認をすることをねらいとして行った授業研究会です。

今回、田村教諭が行った『学級活動（2）』とは、以前は「学級指導」と呼ばれていたもので、個々が努力目標を自己決定し、その実現に取り組めるように実践を続けることで、自己指導能力を育てていく事をねらいとした学習です。

樋口教諭が行った『学級活動（1）』とは、以前は「学級会」と呼ばれていたものです。学級の諸問題について話し合っ解決する活動を通し、望ましい人間関係や社会参画の態度を育てます。違いや多様性を超えて、「合意形成をする言語能力」の育成を図る事をねらいとした学習です。

新しい学級となって、まだ1か月もたっていないこの時期でしたが、本校の学習スタイルに乗りながら、生き生きと学ぶ姿を見ることができました。



学級活動（2）の
授業を行う田村教諭



学級活動（1）の
授業を行う樋口教諭



その2

6学年「授業研究会・学級活動（1）」〔5月23日〕



23日（火）に、6年新沼学級で学級活動の授業研究会を行いました。授業後、全職員で今回の授業から学んだことや改善点を協議し合い、より良い種小授業構築のために、有意義な時間となりました。



協議の最後には、県北教育事務所の宇部指導主事さんから、指導助言をいただき、11月の学校公開研究会に向けても大変意義のある時間となりました。種小は、子どもの笑顔のために、今日もより良い授業を探求しています。

